

全学モジュール科目案内

テーマ名	4 教育と社会		
テーマ責任者	長島雅裕	責任部局	教育学部
対象学部	経済学部・薬学部・水産学部		
趣旨	<p>教員免許を取得するにあたり、学校教育教員にとって身につけておかなければならない教職についての教養として、教育や学校について理解し、基礎的な知識を修得します。また、教育者には幅広い教養を身につけることが求められます。必修科目であるモジュールⅠでは、教育の理念や歴史・行政と制度・教育課程にある児童生徒の心理等について学びます。そしてモジュールⅡでは、文学と社会・自然科学・芸術・環境・教育相談から自身の興味に応じて選択し、各分野について教育現場(学校や地域社会)との関わりから学んでゆきます。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の理念並びに教育の歴史や思想について理解する。(モジュールⅠ)</li> <li>・教育行政・制度の意味を理解し、そのあり方について検討できる。(モジュールⅠ)</li> <li>・児童及び生徒の心身の発達や学習の過程について理解する。(モジュールⅠ)</li> <li>・自然科学・芸術・人文社会の各分野について、学校や地域社会における教育との関わりの中で理解を深める。(モジュールⅡ)</li> <li>・教養教育の全体目標を理解し、各科目の履修を通して関連目標の達成を目指す。</li> </ul>		
学生の皆さんへのメッセージ	<p>教員免許の取得を希望される学生は受講してください。モジュールⅠの科目及びモジュールⅡの「教育相談」は教員免許取得のための必須科目です。また、教育に興味・関心のある方も歓迎します。なお、本モジュールだけでは、当然ながら教師に必要な素養のすべてを得ることはできません。ここで得たものを糧にして、積極的に幅広い教養を身につけてください。</p>		

	科目名	担当者名	概要	キーワード
モジュールⅠ	教育原理論	関谷 融	教育(学)の基本概念について講義を行う。また、具体的で身近な事象や歴史的事象をもとに、現代の教育問題の枠組について講義を行う。	基本概念の有効範囲・「子ども」・「成長」・「理解」・「能力」
	教育心理	原田 純治	子どもの発達(発達障害の内容を含む)、学習過程とその動機づけ、パーソナリティと適応、教育評価の主要4領域、さらには教師の心理、学級集団の心理について講義を行う。	発達、学習、パーソナリティ、教育評価
	教育行政・制度論	木村 拓也	日本の教育行政・制度をその成立から現状、公教育の組織原理と理念の解説に至るまで網羅的に講義する。教育制度の現状とそれを支える教育行政組織と教育法規を併せて解説することで教職員としての日本の教育行政・制度に対する理解と教養を修得することを目的とする。	公教育の組織原理と理念、教育行政組織、教育行財政制度
モジュールⅡ	教育相談	谷口 弘一	フォーマルなサポートであるカウンセリングとインフォーマルなサポートであるソーシャルサポートについて説明できる。学校・家庭場面において、効果的な援助が提供できるようになる。	カウンセリング・ソーシャルサポート・ピアサポート・スクーリングサポートネットワーク
	教育相談	内野 成美	教育相談の意義や過程、児童生徒理解の領域と方法、教育相談を行う際の教師としての留意点などの知識や理解を深める。また、演習も踏まえながら教育相談の実践的な技法を学ぶ。	教育相談・生徒理解・予防的・開発的カウンセリング
	文学と社会	堀井 健一	(副題:西洋古代史入門) ヨーロッパ文化を理解する教養としての古代ギリシア・ローマについての知識を学ぶ。到達目標は、西洋古代の歴史と文化の特徴を説明できるようにすること。	ヨーロッパ、歴史、文化

身のまわりの科学	長島 雅裕	エネルギー保存則や物体の運動方程式などの基本的な物理法則が、身のまわりから、原子よりもミクロの世界から宇宙に至るまで、様々なスケールのどのような現象と関わっているかを学ぶ。	素粒子・原子核、宇宙、自然現象、物理法則
芸術	織田 芳人	色に関する基礎知識を学び、構成・デザインにおける美しさ・楽しさという観点を踏まえて、紙を利用した基礎的な造形表現の方法を学ぶ。	構成・デザイン・創造・生活文化
環境と社会	星野 由雅	環境と社会がどのように関わっているかを環境基本法などで大まかに捉え、具体例として化学物質がどのように環境や人間に影響を与え、社会が、それをどのように扱って行けば良いのかを各種の規制法等を通して考える。また、ドイツの環境と社会との関わりを多角的に調べ、日本の環境と社会との関わりのあるべき姿を探る。	環境基本法、環境基準、化学物質のリスク、ドイツの環境事情、環境教育

全学モジュールの目標 キーワード、および授業 編成の視点との対応	技能・表現						知識・理解			態度・志向性				※授業編成の視点			
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	A	B	C	D
	自主的探究	批判的思考	自己表現	行動力	日本語コミュニケーション力	英語コミュニケーション力	基盤的知識	環境の意義	多様性の意義	社会貢献意欲	学問を尊敬する態度	自己成長志向	相互啓発志向	哲学的な切り口	歴史・略史を扱う	現代的な話題を取り入れる	アクティブラーニングの活用
教育原理論	○	◎					◎			◎	○			◎	○	○	
教育心理		○			○		○			◎	○		○			◎	
教育行政・制度論	◎	◎			○		○			◎	◎			◎	◎	◎	○
教育相談	○	◎	○	○	○	○	◎			○	◎	○	○	○		◎	○
教育相談	○	○	○	○	○		○	○	○	◎	○	◎	○			◎	
文学と社会	○						○				◎		○	◎	◎	○	
身のまわりの科学		○			○		◎				◎			○			
芸術	◎	○	◎	○			◎			○	◎	◎	○		○	◎	
環境と社会	◎	○	◎	○	◎		○	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目